

第6章 計画の推進

1. 施策の重点化

限られた資源で、効率的・効果的に強靱化を進めるためには、施策の重点化を図る必要があります。

このため、脆弱性評価の結果を踏まえ、下表に示す「効果の大きさ」や「緊急度・切迫度」などを総合的に勘案して施策の重点化を行い、毎年度の予算編成や国への施策提案に反映させます。なお、重点化施策項目については、施策の進捗状況を踏まえ、適宜見直しを行います。

【重点化の視点】

効果の大きさ	災害リスクを回避する上で、どの程度の影響・効果があるか
緊急度・切迫度	災害リスクに照らし、どの程度の緊急性・切迫性があるか
施策の進捗状況	全国水準や指標目標に照らし、どの程度進捗しているか
平時の活用	災害時のみならず、平時においてどの程度活用できるか
国全体の強靱化に対する貢献	国全体の強靱化にどの程度貢献するか

飛島村での関連災害種別の発生確率や、影響の大きさの観点から、優先的に取り組むべきプログラムを32から7に絞り込みました。また、飛島村の現状を踏まえて、「効果の大きさ」や「緊急度・切迫度」などを考慮して、特に重点化すべき9施策を設定しました。

リスクシナリオ（7項目）		重点施策（9施策）
番号	最悪の事態	
1-1	住宅・建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生	<ul style="list-style-type: none"> 受託・建築物等の耐震化等の推進 公共施設等の耐震化の推進・促進
1-3	広域にわたる大規模津波等による多数の死傷者の発生	<ul style="list-style-type: none"> 津波防災地域づくり 避難場所・避難路の確保・整備等
1-4	突発的又は広域かつ長期的な市街地等の浸水による対数の死傷者の発生	<ul style="list-style-type: none"> ハード対策・ソフト対策を組み合わせた浸水対策の推進
2-1	被災地での食料・飲料水等、電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止	<ul style="list-style-type: none"> 物資調達・供給体制・受援体制の構築等
2-2	消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足	<ul style="list-style-type: none"> 災害対応の体制・資機材強化
3-2	村の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下	<ul style="list-style-type: none"> 村職員の参集困難に伴う初動対応の低下、村行政機関の低下
7-4	有害物資の大規模な拡散・流出	<ul style="list-style-type: none"> 石綿飛散防災対策

2. アクションプランの策定及び進捗管理

本計画において施策を推進するにあたっては、原則として、総合計画の基本計画事業を本計画の主要施策としてとりまとめ、基本計画事業の具体的な進め方を明示した実行計画を本計画のアクションプランとして位置付けます。

本計画のアクションプランの進捗状況は、総合計画の実行計画の進捗管理と兼ね、進捗状況を把握します。

3. 計画の見直し

本計画については、今後の社会経済情勢の変化や国及び県の国土強靱化施策の推進状況などを考慮し、総合計画の見直しに合わせて、概ね5年ごとに計画の見直しを実施します。ただし、計画期間中であっても、新たに想定されるリスク等を踏まえ、必要に応じ、計画の見直しを行います。地域防災計画など国土強靱化に係る村の他の計画については、それぞれの計画の見直し時期や次期計画の策定期間に所要の検討を行い、本計画との整合を図ります。